

わたしは、イギリスに来て英語の勉強をしています。むずかしいけれど今は少し分かるようになってきました。もつとがんばって勉強して文章を書いたり、本を読んだり、友達や先生とたくさんしゃべれるようになりたいです。

英語を勉強するのも楽しいけれど日本語はふるりの言葉なので、きちんと勉強したいです。日本語と英語のちがいは、日本語はひらがな、かたかな、漢字の三種類を使っていますが、一方英語はアルファベットの一種類しか使っていない所です。特に、漢字は数が多いので、これからも覚えることがたくさんあります。一つの漢字でも音読みと訓読みの二つの読み方があるし、書き順、画数、部首、おくりがななど覚えなければならぬこともたくさんあります。大変だけれど、むずかしい本も読めるようになりたいので、早く漢字を覚えたいです。

わたしが日本語の中でも漢字が好きな理由は、ひらがなで書くと分かりにくい文字が漢字で書くと分かりやすくなるからです。

例えば、「四季」をひらがなで書くと「しき」と書きますが、どの「しき」かが分かりません。四季という漢字のほかに式や指揮という同じ読み方をする漢字があります。でも、漢字で表せば、すぐにどの「しき」か分かります。

他には、漢字の出来方がおもしろいと思います。例えば、「巢」という漢字は木の上の鳥のすにひながいる様子から出来たと言われています。それは、本当に、木の上の巢にいるひなみたいに見えておもしろいと思うからです。

他にも、「山」や「川」など物の形から出来た漢字があります。お母さんが、

「漢字は文字その物に意味がある、すばらしい文字なんだよ。」

と教えてくれました。わたしは、日本人として漢字を大切にしようと思いました。

最近では、お母さんに四字じゆく語を教えてもらっています。四字じゆく語とは、漢字を四つにならべただけで意味が分かる言葉なのです。わたしが好きな四字じゆく語は、「二石二鳥」です。なぜかというところ、一つのことをするだけで、二つの幸福があるという意味があるので、なんだか得した気分になれるからです。四字じゆく語を勉強すると昔の人の言い伝えや考え方などが学べて、歴史の勉強にもなります。

今までは、漢字だけを覚えていましたが、これからは日本の文化や歴史のことを思っただけ勉強をしていきたいと思っています。